

# 足立健康友の会 かばら支部ニュース

第59号  
2013年6月20日  
☎: 3605-5594  
http://kabara-tomonokai.kenwa.or.jp/  
mail:kabarashibu@yahoo.co.jp

## 再稼働反対！ 全国から1万8千人 原発ゼロをめざす中央集会

6月2日、前日の予報で「雨のデモ行進」を覚悟していましたが、幸いなことに予報は外れました。木陰でないと真夏の炎天下の様なむせかえる会場に1万8千人が集

合。

「原発再稼働反対・自然エネルギーへの転換」を口ぐちに訴えあ

って来ました。「足立健康友の会」の旗のもとには、東都協議会の職員のみならず、そして友の会北千住支部、西支部、北地域支部のみならずと共に、新婦人「やよい班」の顔見知りのご婦人たちとも一緒になりました。

この集会で特に印象が深かった発言は福島原発の地元からかけつけた人の話でした。「ふるさとへ帰りたいくても帰れない。もう原発は終わりにして・・・」という内容の訴えかけでしたが、「私の故郷が福島のある場所だったら」と考えると背筋が寒くなります。同時に



原発ゼロをめざす中央集会

他人の話と受け流さない気持ちをみんなが持つことが大事だと考えました。

先日の世論調査（朝日新聞6月11日）で「原発再稼働反対」が58%、賛成が28%でした。

それなのに安倍首相は無神経にも「大震災をくぐり抜けた世界で一番安全な原発」を口実に外国に「原発」を熱心に売り歩いています。同じセリフを原発で故郷を失った人々の前でいえるでしょうか。その様子を見てみると、腹が立ってしかたがありません。安倍首相は大企業の代弁者であっても、決して庶民の目線でものを見ることが出来ない人だと強く思いました。デモ行進は明治公園から六本木の駅まででした。時々、沿道歩く若いカップルや中年の人から行進中の私達に拍手や手振り、「脱原発」の意思を表すような仕草が帰って来ました。

この光景に出会い、前の世論調査の結果も含め、庶民の側の意識の健全さがかるうじてこの国の良識を支えていると言う実感を持つことができました。もうじき参議院選挙がありますが、「脱原発・自然エネルギーへの転換」を本気でやり通す政党を良く見極めて行きたいと思えました。

担当

嶺岸宏

## 医師・看護師・介護職員を増やせ！！

去る5月11日（土）雨の中、浅草の雷門前で「医師・看護師・介護職員を増やせ」の宣伝行動が行われました。この行動には東京民医連の東部東葛ブロックより職員と友の会役員が190人参加。蒲原グループからも診療所の職員3人と友の会役員が2人参加しました。

雨にも関わらず、「医師と看護師を増やして安心して医療が受けられるよう」通行人に訴えかけると、傘をたたみ快く署名に応じてくれた人もいました。（全体では413

カーの上から、代わる代わる看護師や介護職員が現場の生の声を伝え、運動への理解と協力を訴えました。

宣伝行動が終了した後、浅草公會堂の会場で参加者の交流があり、各地域別の医療・介護現場に配属された新入職員（看護師・介護職員・他）が紹介され「雨が降って大変だったけれど、話した人が良く分かってくれたので、これからこの様に宣伝して行くことが大事だと思いました」と新鮮な感想を話して会場から大きな拍手が起きました。この交流会では若い職員と年配の友の会の私達との交流が盛り上がったように感じました。

担当 滝川征彦



新人職員も元気に訴えました

伝 宣 たしまりま集が名署らか人

### 蒲原五〇年史を読んで

感想

戦前、労働者や農民の住む貧しい地域での無産者診療所が今の様な診療所に発展して来たと言うことが分かりました。

この歴史の中で一人一人の大きな努力は計り知れないことだと思えます。嶺岸さんの言葉を借りて言うならば「今と明日を担う」ため私たち住民と共に地域に根ざした診療所として大切に育てて行きたいと思えました。

担当

美田恵子

## 綾瀬・加平地域で懇談会 20人の参加で盛況の交流会

去る5月12日(日)綾瀬・加平地域で「下町の健康」を手配りして協力さ  
びかけ人になり、  
久しぶりの「友の会」の集まりがも  
たれました。

この日の司会、進行役は手配り協  
力者の一人である  
滝沢さんです。最  
初に綾瀬6丁目  
に住む薄井元支部長  
から「健康友の会

との関わり」を自身の体験を踏  
まえて短い時間で紹介して頂きま  
した。蒲原診療所からは友の会事  
務局長の嶺岸さんと看護主任の八  
田さんが参加しました。嶺岸さん  
は「今年、蒲原診療所は創立50  
周年を迎え、歯科診療所は同じく  
30周年を迎えました。これも地  
域のみなさんが支えて頂いたお陰  
です」と感謝の言葉を述べられま  
した。

八田看護主任は「9月半ばから  
恒例の蒲原健康講座が始まります  
今、実行委員会を開き、テーマな  
ど検討中です。講座の内容が決ま  
りましたらお知らせしますので、  
ぜひお楽しみにして参加下さい」と  
健康講座の案内をしました。



綾瀬・加平地域懇談会

また、友の会かばら支部役員で  
もある、秦野昭彦区議会議員も顔  
を出し、足立区政の報告と真近に  
迫った都議会議員選挙の動きなど  
について話されました。

ちょうど、懇談会を昼時に開い  
たこともあり、世話役の滝沢さん、  
亀井さん、仙石さんが、煮物、お  
しんこ、春雨、ソーメン、赤飯な  
どを会費の500円以内で準備し  
てくれました。それに世話役さん  
の故郷、新潟の銘酒などに舌つ  
みを打ちながら「久しぶりにみん  
なで集まり楽しいね」と言いなが  
ら懇談が進みました。

土建綾瀬分会の安達さんの乾杯  
の後、食事とお酒が進む中で、簡  
単な自己紹介をしました。その中

でカラオケのリクエストも登場。  
元かばら友の会の支部長であった  
宮本政次さん(故人)の長女さん  
にカラオケの担当をお願いし、み  
んなで心行くまでカラオケとおし  
やべりを楽しみ合いました。

この久々に開いた会を通して、  
友の会の活動を綾瀬地域で、定着  
させ、継続させるヒントが探れた  
様な気がしました。

担当 加平1丁目 宮澤正彦

## 青空健康チェック 東京土建「住宅デー」で

6月2日(日)

綾瀬駅前の、ほと  
公園で東京土建綾  
瀬分会の「住宅デ  
ー」が開催されま  
した。それに合わ  
せて、かばら友の  
会で「青空健康チ  
ェック」を行いま  
した。この健康チ  
ェックには蒲原診  
療所から大脇事務  
長と、かばらデイ

サービスの佐々木看護師が参加、  
かばら支部の役員6人も交えて  
「健康チェック」を行いました。  
この場所でチェックを受けたのは  
25人でしたが、血圧測定の結果  
血圧が高く異常のある人はいませ  
んでした。しかし体脂肪の値が高  
い人が何人かいて、看護師さんが  
パンフレットを渡して説明し、脂

肪を減らすための食事や運動につ  
いて話していました。体脂肪が多



い女性の一人は「前から脂肪が多  
かった。なかなか減らないで困っ  
ているのよ」と話し、看護師さん  
から「やはり食事が大事ですよ」  
と言われて「やはり食事を注意し  
ないと駄目なのよね」と納得した  
様子でした。

これからも機会あるごとに蒲原診



療所  
グル  
ープ  
の看  
護師  
さん  
に協  
力を  
して  
もら

い「青空健康チェック」を地域の  
色々な場所で進めて行きたいと思  
っています。

担当 美田 恵子

## 総会 4月28日 「サークル他」の報告

書道(池田はるえ)

月2回の例会を開いています。

先生の指導で楷書から草書まで幅  
広く書道を学べます。筆字を学べ  
ばペン習字も上達するとのこと  
です。それと新年会や夏のビヤガ  
ーデンでの飲み会など、楽しい集  
まりも恒例でやっています。興味  
がある方はぜひ、ご参加ください。

これもれび(池田國夫)

歌声サークルが発足して12年  
が経ちました。始めた頃は会員が  
5〜6人でしたが今では40人に  
増えました。大阪で開かれた「歌  
声祭典」で内科のお医者さんが、  
あいさつをされ「人間の情感は歌  
うことよって高まると思う。そ  
して人間同士のつながりを実感で  
きる大切な活動」と話されていま  
した。サークルには今12人の世  
話役さんがいますが、その人達と  
相談しながら活動を進めて行き  
たいと思っています。

原水禁世界大会・バザー用品  
カ  
ンパをお願いします